

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 小学部		学 年	4 年
教科等名		日常生活の指導		B 学習グループ	B（知的代替）
ねらい		(知・技) ルールを理解し、教員や友達を介して友達と協力することができる。 (思・判・表) 学校生活に見通しをもって、行動する。 (主) 集団生活に必要なきまりを理解できる。			
担当教員		教員：楠本泰周 小貫 蒼 生井恭子 学年の教職員			
年間授業時数		353 単位時間			
使用教科書					
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫	
4	・毎日のバイタルチェック ・排せつ ・手洗い ・朝の身支度、下校準備 (荷物整理、コート・靴の着脱) ・水分補給 ・教室移動 ・係活動 ・授業・給食の準備、片付け ・清潔	3 5 3	○日々のバイタルチェック測定 ◆測定時は早く終わるように協力できる。 ○排せつ、手洗い。 ◆時間でトイレに行き、自立した排せつを目指す。 ◆トイレ内では遊ばず、短い時間で済ませることができる。 ○あいさつ、丁寧な言葉遣い、礼儀作法。 ◆時間やきまりを守って行動する ○朝の身支度、下校準備。 ◆衣類の着脱、持ち物の整理など身の回りの支度ができる。 ○教室移動。 ◆身体を傾けずに手はなるべく天板の上に置き、安全に移動できるように協力できる。 ○係活動。 ◆自分の仕事に責任をもち、進んで取り組むことができる。 ○給食前の準備・片付け。 ◆給食に必要なものが分かり、自ら準備や片付けに取り組むことができる。 ○食事。 ◆食事のマナーを守り、正しい食事の習慣が身に付くようにする。 ○日常生活。 ◆友達と関わりをもち、きまりを守って仲良く遊ぶことができる。 ◆学校生活に見通しをもち、次の活動へ自主的に取り組むことができる。	・児童の実態に応じた課題に取り組む。 ・できる限り自分でできるように最小限の支援・介助をしていく。 ・身支度や給食準備等では、物の置く場所を決め、できるだけ一人で取り組むことができるような環境設定を工夫する。 ・繰り返し行うことで活動の定着や習慣化を図り、さらに発展させて指導する。 ・学校生活の中で、けがのないよう、児童の動きに配慮した動線にする。 ・安全に過ごすことができるように教室整備する。	
5					
6					
7					
9					
10					
11					
12					
1					
2					
3					

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 小学部	学 年	4 年
教科等名		国語	B 学習グループ	B（知的代替）
ねらい		(知・技) 声を出すことや表現することに興味をもち、自分から関わることができる。 (思・判・表) コミュニケーションカードや言葉なので自分の方法で表現する。 (主) 進んで、絵本や紙芝居などをたのしむことができる。		
担当教員		教員：小貫蒼 楠本泰周 生井恭子		
年間授業時数		147 単位時間		
使用教科書		こくご☆☆（東京書籍）ひらがなことばカード3集（くもん出版）		
月	単元名	指導時数	○主な学習内容◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
通 年	個別学習	9 8	○人との関りを通して、話を聞く、伝える ○なぞり学習 ○弁別学習 ○ひらがな学習 ○文字とイラストのマッチング ○学習したことや経験したことを言葉や身振り、イラストなどで表現し、伝える。 ◆言葉や文字に興味をもち、イラストと言葉を繋げる。 ◆集中する時間を伸ばす。	・発達年齢・児童の生活に合った学習内容を取り入れる。 ・外部専門員の意見を積極的に取り入れる。
	お話会	1 1	○外部専門員によるお話会の参加 ◆たくさんの絵本と・本と出会い、好きな本を増やすことができる。	・お話に集中できる環境を作る。 ・紹介を受けた本は授業で再度取り上げる。
4	自己紹介をしよう	2	○自分のことを新しいグループの友達に紹介する。 ○書いたり、資料を貼ったり、映像表現したりして表出する。 ◆できることは自分で進める。 ◆伝えたい内容を教師と一緒に表現できる。	・見本となるものを提示する。 ・グループ内だけではなく、他の方にも発表できるようにする。
5 6	お話の世界を楽しもう	1 0	○読み聞かせ ○再現学習 ◆お話に耳を傾けることができる。 ◆役になりきったり、再現学習に参加したりする。	・作品に合わせて、モニターに本を映し出すなど、児童の実態に合わせる。
11 12	好きな本を増やそう	6	○図書館利用を学ぶ ○紹介したい本を教員と一緒に探す。 ◆ルールを守って図書館利用ができる。 ◆友達や家族に本を紹介する。	・読書月間と合わせて学習を進める。
2 3	お話の世界を楽しもう	2 0	○読み聞かせ ○再現学習 ◆お話に耳を傾けることができる。 ◆役になりきったり、再現学習に参加したりする。	・作品に合わせて、モニターに本を映し出すなど、児童の実態に合わせる。

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 小学部	学 年	4 年
教科等名		算数	学習グループ（教育課程）	B（知的代替）
ねらい		（知・技）20までの数の概念や表し方について理解し、数量の基礎を培う。 （思・判・表）身の回りにあるものの大きさや長さに注目し、比べることについての基礎を養う。 （主）身の回りのものの形に着目し、分類したり、集めたりすることを通して、形の性質に気付く力を養う。		
担当教員		教員：楠本泰周 生井恭子 小貫蒼		
年間授業数		115単位時間		
使用教科書		ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」① 同成社		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
年間	個別学習	75	○数唱、数列、数量の理解、数の合成・分解。 ○大小・多少・長短。 ○形の弁別、分類、マッチング、模写。 ○空間における位置関係の理解。 ◆数量や数の表し方について理解する。 ◆大きさ、長さなど比べることについての基礎を培う。 ◆形の弁別、分類、マッチングができる。	・外部専門家と連携し、的確な実態把握を行う。 ・個々の課題に合わせて、教材を用意する。（タイル、たしかめ板、ワークシート等）
4 5	どこにかくれているかな	8	○宝探しゲーム。（複数の箱の中に入っている物を探し当てる。） ◆箱の中に隠した物を記憶したり、目で追って探したりできる。	・隠すものは児童が好きなものや注目しやすいものにする。
6 7	おなじものをさがそう	8	○具体物を見て、同じ絵カードを見つけたり、写真や絵カードを見て、同じものを見つけたりする。 ◆同じという概念に気付き、同じものを選んだり、合わせたりすることができる。	・児童にとって身近なものや好きなものの絵や具体物から学習を始める。
9 10	どっちがおおきい	8	○形や具体物の大きさの比較。 ○頭の中で大きさを比較する。 ◆形や具体物の大小が分かる。 ◆見えないものを類推して比べ、大小が分かる。	・言葉だけでなく、身振りをつけながら、理解へつなげられるようにする。
11 12	かぞえてみよう ①（数唱、数列）	8	○数を数える。（数唱と数字の読み） ○数字を順番に並べる、書く。 ◆数を数えたり、順番に並べたりする活動を通して、数えることの基礎を培う。	・歌など、児童が口ずさみやすい方法で繰り返し取り組む。
1 2 3	かぞえてみよう ②（数量の理解）	8	○数詞と物の対応。（この中から○こちょうだい、○こ取って等） ◆数とそれに対応する量とを結びつけることで数量を理解する。	・ドットや具体物を使い、数詞と数量を見て確認できるようにする。

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 小学部		学 年	4 年
教科等名		図画工作		B 学習グループ	B（知的代替）
ねらい		(知・技)形や色などに気が付き、材料や用具を使うことができる。 (思・判・表) 表したいことを考えたり、教職員に伝えたりすることができる。 (主) 作り出す楽しさに気が付き主体的に取り組むことができる。			
担当教員		教員：小貫 蒼、楠本 泰周、生井 恭子			
年間授業時数		39 単位時間			
使用教科書		つくってみよう！へんてこピープル（理論社）			
月	単元名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）		指導の工夫
4 5	絵具を混ぜて色を塗ろう	8	○色塗りやスタンプ押し。 ○色を混ぜて色々な色をつくる。 ◆絵具を混ぜて色が変わる様子に注目することができる。 ◆道具を使って、色々なところに色を塗ることができる。		・大きくて広い紙等を用意する。 ・個々にあった道具を用意する。
6 7	版画制作	6	○ローラー、ばらんなどを使い、はんがの作品を作る。 ◆自分から手の平全体で材料に触れる。握ったり、押ししたりして感触を受け止め、手を使う経験を広げる。 ◆紙等を貼り合わせて版を作り、映して表すことができる。		・個々にあった道具を用意する。 ・見本を提示し、何を作るのかが伝わるようにする。
9	オリジナルのお面をつくろう	4	○お花紙や紙などの飾りを丸めたり切ったりして飾りを作る。 ○作った飾りを貼り付ける。 ◆はさみ等の道具を活用しながら作品作りに取り組むことができる。 ◆出来上がる作品に期待しながら作る。		・制作の振り返りの時間を設け、作品を鑑賞し合えるようにする。
10 11	輝虹祭に向けてグッズを作ろう	8	○教室内の装飾作り。 ○お祭りで使用するグッズ製作。 ◆作りたいものを教職員に伝えることができる。 ◆道具を正しく使って、教職員と一緒に作ることができる。		・並べ方なども工夫できるように提案する。 ・友達の様子が見られるように机の位置の工夫をする。
12	季節の飾りをつくろう	3	○クリスマスの装飾作り ◆役割を理解して、貼ったり切ったりして装飾を完成させようとする。		・見本を提示し、何を作るのかが伝わるようにする。
1 2 3	粘土で作ろう	10	○粘土学習 ○ペンダント作り ◆粘土の特性を楽しみながら、進んで触り、形を変えたり型にはめたりすることができる。 ◆準備や片付け、手洗いまでを教職員と一緒に学習することができる。		・個々にあった道具を用意する。 ・見本を提示し、何を作るのかが伝わるようにする。

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 小学部	学 年	4 年
教科等名		音楽	学習グループ	B（知的代替）
ねらい		（知・技）簡単な音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、音楽づくりの技能を身に付ける。 （思・判・表）音楽表現を通じて、音や音楽に興味をもって聴くことができるようにする。 （主）仲間と一緒に音楽活動する楽しさを味わいながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養う。		
担当教員		教員：楠本泰周 生井恭子 小貫蒼		
年間授業時数		40 単位時間		
使用教科書		手あそび指あそび歌あそびブック1（ひかりのくに）		
月	単元（題材）名	指導 時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
年間	季節の歌	40	○歌唱、鑑賞 始まりの歌：「はじめよう」 春：「さくら」「春の小川」他 夏：「ピクニック」「かえるの合唱」他 秋：「証城寺の狸囃子」「とんぼのめがね」他 冬：「カントリーロード」「コンコンクシャン」他 ◆歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌や旋律の一部分を自分なりに歌おうとする。 ◆曲想や楽器の音色、リズムや速度の違いに気付くことができる。	・春、夏、秋、冬の歌や季節行事にちなんだ歌を取り入れる。 ・季節をイメージしやすいよう、画像や動画を活用し、季節にちなんだ具体物を用意する。
4 5	いろいろな音	5	○「なんのおと？クイズ」楽器・動物・花火・電子音などの生活音等 ◆音を聴いて何の音か想像し、イメージを膨らませることができる。	・児童が馴染みのある楽器を扱う。 ・慣れてきたらクイズを出し合い意欲を引き出す。
6 7	からだで音楽 ゆっくりはやく	8	○友達や教職員と一緒に曲や歌に合わせてやりとりしたり、踊ったりする。 ◆友達や教職員とリズムや動きを合わせて、やりとりしたり、踊ったりする。	・ダンスの動きが分かりやすいよう、低速にした動画等で見本を見せられるようにする。
9	大きな音、小さな音	7	○様々な打楽器を歌詞や曲に合わせて大きな音、小さな音で鳴らす。「しあわせならてをたたこう」「おおきなたいこ」等。 ◆歌詞や曲を聞いて、音の大きさを感じ、大きい、小さいに合わせた音で打楽器を鳴らすことができる。	・児童の身体の実態に応じて、握りやすい太さや、叩きやすい大きさに工夫する。
10 11 12	めざせがっき名人	10	○曲に合わせて、楽器を鳴らして、音楽を表現する。高い音、低い音他 ◆音や音楽を聴きながら、楽器をタイミングよく鳴らすことができる。	・鳴らすタイミングが分かりやすいよう、リズム表を呈示する。
1 2 3	ドレミとなかよし	10	○リズム打ち ◆曲のリズムに合わせて楽器を鳴らすことができる。 ○メロディー演奏 ◆曲に合わせて、ドレミ・・・を鳴らすことができる。 ○合奏 ◆友達の楽器の音も聞くことができる。	・歌詞カードに色付けしてチーム分けを明記する。 ・児童の実態に合った楽器を選ぶように提示する。 ・動画等を用いて、演奏する音やタイミングを分かるようにする。

※児童の学習の習得状況に応じ、学習内容の精選や進度の調整を行います。

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 小学部	学 年	4 生
教科等名		生活単元学習	学習グループ	B（知的代替）
ねらい		（知・技）様々な活動を通して、自分、身近な人、社会、自然に関心をもち、生活において基本的な習慣や技能を身に付ける。 （思・判・表）植物の生長の観察、季節行事を通して自然の変化や季節を感じ、興味・関心の幅を広げることができる。 （主）教職員と一緒に様々な活動を楽しみながら、生活経験の幅を広げていく。		
担当教師		教師： 小貫 蒼 楠本泰周 生井恭子		
年間授業時数		2 5 7 単位時間		
使用教科書		生活道具カード(くもん出版)、写真でわかるなぜなにシリーズ①どうぶつ(世界文化社)、手と手をつないで (BL 出版)		
月	単元名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
通 年	・課題に取り組もう	1 4 2	○個別課題学習 ◆実態に応じ、学習を身に付ける。	・児童の実態に応じた課題に取り組む。
	・英語でコミュニケーション	1 2	○表現活動 ◆簡単な英語を使って表現活動ができる。	・教師も一緒に楽しく活動する。
	・学校の安全	1 5	○避難訓練の事前、事後学習 ◆安全に生活するにはどんなことに気を付けるのかを知る。	・自分を守る防災頭巾や小さくなる姿勢などを毎回取る。
	・花や野菜を育てよう	1 6	○花・野菜調べ、雑草取り、種まき、観察 ◆植物の成長に興味をもつ。※適宜観察	・実物や写真を提示しながら進める。
4	・学校探検	6	○各学年の教室の場所などを確認する。 ◆大まかな校内の位置を知る。	・校内地図を確認する。
5	・自分でできるよ。	6	○手洗い、衣服の着脱や物の移動など。 ◆できるは自ら進んで、やってみようとしているか。※学習後も継続していく。	・できたことは評価し、定着を目指す。
5 6	・社会見学へ行こう（事前・後）	8	○社会見学へ行くことを知る。買い物学習。 ◆行く日時や場所が分かったか。買い物の方法・マナーが分かったか。	・ポスターや動画などを効果的に使う。
7 9	・夏祭りをしよう！（準備）	8	○どんなお祭りにしたいのか計画をする。 ◆選択肢の中から自分の思いを伝えられたか。友達の見聞も聞いたか。	・想像できるように写真や動画を提示する。
	・夏祭りをしよう！（開催）	8	○役割や担当を果たして、楽しむ。 ◆自分の担当を知り、役割を果たすことができたか。	・教職員も一緒に楽しみ、盛り上げる。
10	・買い物をしよう	8	○買い物学習。◆公共のルールを守れたか。	・買い物をする。
11	・虹輝祭を成功させよう	8	○展示作品の仕方を工夫する。 ◆グループ内で相談しながらできたか。	・写真などを見ながら進める。
12	・お楽しみ会をしよう	8	○1 年間頑張ったことをグループのみんなで発表し、称え合う。 ◆グループ全員で、頑張りを認め合うことができたか。	・想像できるように写真や動画を提示する。
1	・書初めをしよう	8	○書初め、筆や墨を知る。 ◆お見本を見ながら書くことができたか。	・道具を大切に使うことを最初に説明する。
2 3	・目指せ、決勝！（ポッチャ）	1 2	○ルールを守ってポッチャをする。 ○応援グッズなどを作成する。 ◆ゲームに参加できたか。	・手指の消毒や応援の仕方などに注意を払いながら行う。

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 小学部	学 年	4 年
教科等名		体育	B 学習グループ	B（知的代替）
ねらい		（知・技）ルールを理解し、教員や友達を介し作戦を立てたり友達と協力したりできる。 （思・判・表）楽しく身体を動かす。 （主）主体的に身体を動かしたり、色々なスポーツに興味をもったりして学習することができる。		
担当教員		教員：楠本泰周 生井恭子 小貫蒼		
年間授業時数		37 単位時間		
使用教科書		たべもののたび（童心社）		
月	単元名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
通年	身体作り運動	3 7	○5 分間走 ○ラジオ体操 ◆できる動きは、積極的に動くことができる。 ◆モニターや教員の動きを見て、まねができる。	・時間やルールをわかりやすく説明する。 ・できたことは評価し、次の学習へとつなげる。
4 5	道具を使っ ての運動（ボ ール）	8	○シュート型ゲーム ○ネット型ゲーム ◆自分のチームが分かる。 ◆シュートできそうな位置やタイミングは学習を通して知ることができる。	・シュートネットは毎回位置や高さを変えて、児童の実態に合わせる。 ・シュートが決まった時は成功を評価する。
6 7 9	水泳 （実施でき ない場合 体づくり運 動）	1 1	○水遊び（水慣れ、水中歩行、もぐる、息を吐くなど） ○浮く（背浮き、伏し浮き、けのびなど） ○泳ぐ（補助具を使ってキックやストローク等） ◆水に慣れ、リラックスするとともに水中で意欲的に身体を動かす。	・個々の課題に応じ、補助具を使用したり介助したりする。 ・気温や水温、体調の変化に留意し、無理なく活動できるようにする。 ・入水できない場合は、個別に学習する用意する。
10 11 12	マット運動	8	○上半身を使って目的の場所に進む ◆約束を守って安全に活動に参加することができる。 ◆仲間を意識して取り組んでいる	・学習の初めにしっかりストレッチを行う。 ・無理な動作にならないように、事前に身体の実態を共有する。
1 2 3	球技 ボッチャ	1 0	○ルール説明 ○ボッチャゲーム ○準備・片付けも担当する ◆順番を守ることができる。 ◆友達を応援することができる。 ◆投げ方や自分がいる位置を確認することができる。	・他の学習グループや N 文門の友達を対戦できるようにし、実践のゲームをしながら学べるようにする。

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 小学部	学 年	4 年
教科等名		特別活動	学習グループ（教育課程）	A（自立） B（知的代替） C（準ずる）
ねらい		（知・技）集団の活動の中で、学年の友達や他学年の友達に意識を向ける。 （思・判・表）児童の交流の機会を通して、帰属意識や信頼関係を養い、集団で楽しく活動する経験を積み重ね、自分の気持ちを伝えようとする。 （主）教職員や友達との交流を通して、よりよい人間関係を育て、社会性を育む態度を養う。		
担当教員		教員：上原 千穂 望月 稔也 阿部 華子 生井 恭子 佐藤 匠 C G：阿部 由香梨 伊藤 方美 金子 祐子 田村 千恵		
年間授業時数		37 単位時間		
使用教科書		なし		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	始業式 自己紹介 新入生歓迎会	11	○各行事 ・新入生歓迎会、始業式、終業式等 ◆学年、学部の友達との仲間意識を育む。 ◆他校の児童との友達関係を広げる。 ◆学期の始まりと終わりに意識を向け、学校生活の節目を知る。 ○学年活動（他学部・他学年交流を含む） ・教職員紹介、交流遊び、簡単なゲームや歌 ◆歌やゲーム、交流を通して、集団での活動の雰囲気や挨拶、ルールについて知る。	・学習グループの異なる児童同士が関わることに主軸を置いた内容を設定する。 ・学校行事の特質を生かし、特別活動における集団活動と交流活動の関連を図る。
5	学年の時間 鹿本小学校交流 クラブ活動			
6	他学年交流 N小4との交流			
7	終業式			
9	始業式 虹輝祭 学年の時間	13	○各行事 ・虹輝祭、鹿本小学校交流、終業式等 ◆虹輝祭は学習の成果を発表し、他学年他学部の発表を見たり、作品を鑑賞したりする ◆他校の児童との交流を深める。 ◆学期の始まりと終わりに意識を向け、学校生活の節目を知る。 ○学年の時間（他学部・他学年交流を含む） ・季節を感じる遊び、簡単なゲームや歌等 ◆集団での活動を通して、他の児童に関心を持ち、児童同士の交流を深める。	・準ずる教育課程の児童の役割を明確にし、教育課程の異なる児童の集団でのねらいを設定していく。 ・学校行事の特質を生かし特別活動における集団活動と交流活動の関連を図る。
10	鹿本小学校交流 クラブ活動			
11	他学年交流 N小4との交流			
12	終業式			
1	始業式 6年生を送る会 学年の時間	13	○各行事 ・6年生を送る会、始業式、修了式 ◆学期の始まりや学年の終わりに意識を向け、学校生活の節目を知る。 ○学年の時間（他学部・他学年交流を含む） ・冬の遊び、進級に向けて1年の振り返り ◆4年生のまとめや振り返りを通して、自分や友達の成長を知るとともに、次年度への期待感をもつ。 ◆集団での活動を通して、他の児童に関心を持ち、児童同士の交流を深める。	・児童が見通しをもち、安心して参加できるよう視聴覚教材や身体活動を伴う教材を準備する。 ・学校行事の特質を生かし特別活動における集団活動と交流活動の関連を図る。
2	鹿本小学校交流 クラブ活動			
3	他学年交流 N小4との交流 修了式			

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 小学部		学 年	4 年
教科等名		自立活動		4 B 学習グループ	B（知的代替）
ねらい		(1)自分の身体の状態を知り、維持・向上させるための取り組みを行う。 (2)日常生活に必要な身体の動かし方を知り、取り組む。 (3)移動に関する身体の動かし方を知り、取り組む。			
担当教員		教員：小貫蒼 楠本泰周 生井恭子（自立活動教諭） 福永映子 小泉虹華			
年間授業時数		7 8 単位時間			
使用教科書		なし			
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫	
4	自分の身体のことを知り、使い方を覚えよう。	2 4	○健康観察 ◆検温や適切な水分摂取を通して体調を整え、学習に向かう健康状態をつくる。 【健康の保持】 ◆その時間の学習内容を確認し、意欲的に取り組む気持ちをもつ。【心理的な安定】	・自立活動担当の教員と相談しながら取り組む。 ・必要に応じて個別のメニュー表を作り、見通しをもって取り組めるようにする。 ・身体の使い方を児童がイメージできるよう、動かし方のポイントを助言する。 ・学習内容に見通しがもてるよう、活動の始めに確認を行う。 ・ボディーイメージがもてるように、動かしている部分を言葉で教えるとともに、I C T機器を用いて視覚的に分かるように指導する。	
5					
6					
7					
9		3 0	○ストレッチ・トレーニング ◆自分の身体の状態を知り、維持・向上させるためのストレッチやトレーニングを行えるようになる。【身体の動き】 ◆日常生活に必要な動作の仕方を覚え、練習する。【身体の動き】 ◆移動に関する身体の動かし方を覚え行う。【身体の動き】 ◆自分の体位や動きを理解し、調整する力をつける。【環境の把握】		
10					
11					
12					
1		2 4	○コミュニケーション ◆活動の中で、自分でできる動きや補助を受けてできる動きを理解することができる。 【人間関係の形成】 ◆指示された言葉を理解し、自分で身体を動かせるようになる。【人間関係の形成】 ◆やりとりをする中で、相手の気持ちを受け止め、自分の気持ちを伝えることができる。 【コミュニケーション】		
2					
3					